

事務事業名	農地・水・農村環境保全向上対策参画事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6180				
	□ 実施計画事業		所属課室	農林土木課	課長名	三井 孝司				
			所属担当	計画管理担当	担当者名	深澤 肇				
基本政策	基本計画体系	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03	細目 200	細々目 03
政策		07 農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策		12 生産を支える基盤の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 24 ~ 28 年度)		法令根拠	農地・水保全管理支払交付金実施要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込)						
	1. 事業目的 農地・農業用水路等の資源や農村環境を守り、地域共同の取組みを支援する			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	2. 活動資金の拠出 国庫支出1/2 県支出1/4 市支出1/4 3. 事業費の算出基準 水田 4,500円/10a 畑 2,900円/10a 設立5年が経過した団体は、25%の減額 共同活動12団体 向上活動1団体			その他負担金	11,468					
						計	11,468			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 要綱改正があるため、各組織に説明会等により徹底指導。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定 活動組織への指導助言			ア活動組織	団体
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	農地・水・農村環境保全組織	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア活動回数	回
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	自ら地元の農地保全に務める	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア改修箇所数	箇所
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農業生産の向上と農業環境の改善	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア農業環境満足度	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
	事業費	国庫支出金	千円				23,144	23,144	23,144	
		県支出金	千円				11,572	11,572	11,572	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	8,122	8,915	11,468	11,574	11,574	11,574	
		事業費計(A)	千円	8,122	8,915	11,468	46,290	46,290	46,290	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	500	500	800	1,000	1,000	1,000	
		人件費計(B)	千円	2,276	2,276	3,641	4,551	4,551	4,551	0
		(A)+(B)	千円	10,398	11,191	15,109	50,841	50,841	50,841	0
		活動指標	ア団体							
	対象指標	ア回								
	成果指標	ア箇所								
	上位成果指標	ア%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年度より、県の指導の元開始された。市の単費による改修に限界があるため、国及び県の助成を受けて実施してきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	保全組織(自治会)の増が図られた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域の修繕箇所と助成金額の隔たりの解消。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	改修箇所において、1ヶ所30万円を越える場合には、市技師により適性価格、適正施工できるよう指導助言をおこなう。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	対象農用地から遊休農地の削除。

事務事業名	農地・水・農村環境保全向上対策参画事業	所属部	農林商工部	所属課	農林土木課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 政策体系に結び付いている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共関与が妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域で農地や水を自主的に守り農村環境の保全向上を図る上で妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 対象の拡充は検討の余地がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市予算の農道・水路修繕費用の増額が見込まれる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 左に同じ
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 対象農用地の面積により助成金が決まっているため
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 削減の余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 各活動組織が地域自治会と連動しているため、公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・事業助成金により、地域の要望として上げられる農業環境の保全・整備が施工されることにより、市の財政負担軽減につながることはもとより、農業者自らがお行う事による意識の改革や農業施設の長寿命化が図られる。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 国の政策により始まった事業であり、要綱、要領に沿った事業を展開していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 市の規定により、中山間地域の助成制度と重複できないため、全地域での実施が難しい。全ての地域に事業を広め、遊休農地の解消に繋がるよう努めていきたい。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑩																					
	コスト削減優先度評価結果 ①																					